

# アグリいな 第17号

## アグリいな風景

### 野菜の雪中貯蔵

12月13日にキャベツとニンジンの雪中貯蔵を始めました。外気温は $-10^{\circ}\text{C}$ を下回ることもあります。雪の中は湿度100%、温度 $0^{\circ}\text{C}$ でほぼ一定に保たれます。

また、貯蔵中に生理的变化が起こり、野菜の甘みが増すといわれています。



### ペレットストーブ点火

「アグリいな」では、冬期の暖房にペレットストーブを使用しています。燃料には木質系のペレットを使用しているため、燃焼することで光合成により樹木が大気中から吸収した二酸化炭素を再び大気中に排出されることになります。このため、木質ペレットは、長期間のサイクルで考えると、二酸化炭素の吸収と排出が等しい「カーボンニュートラル」の燃料とされています。

### 12月上旬の積雪

12月5日に14cmの積雪があり、8～10日にも15cm以上の積雪がありました。このまま根雪になれば、根雪始めは12月5日となり、1995年（11月30日根雪始め）以来の早い記録になります。



# 調査結果

## 水稻の疎植栽培試験

県農業総合センター会津地域研究所と共同で、「ひとめぼれ」を使った高冷地における水稻の疎植栽培試験を実施しました。試験区は、株間16cmの70株/坪、株間22cmの50株/坪、株間30cm（正方形植え）の37株/坪の3段階に設定しました。坪当たり何株からが疎植という明確な定義はありませんが、45株/坪以下を疎植栽培とするところが多いようです。ここでは、典型的な疎植栽培である37株/坪を中心に、今年得られた結果の概要をお知らせします。

- (1) 37株/坪では、茎数が少なく推移し、穂数も少なかったが、葉色は濃く推移しました（図1、2）。
- (2) 37株/坪では、1穂についての数（1穂数）は増加しましたが、面積当たりの数（㎡当たり数）は減少しました（図3）。
- (3) 37株/坪では、精玄米となった数の割合（登熟歩合）がやや高く、玄米もやや大きい（千粒重が重い）傾向が認められました（図3）。
- (4) 精玄米は栽培株数が少ないほど少なくなり、37株/坪では70株/坪より30kg/10a程度の減収となりました（表1）。
- (5) どの区も外観品質が良く、余裕で1等に入る品質でした（表1）。
- (6) どの区もタンパク質が低く、食味値はおいしいお米とされる85を超えました（表1）。
- (7) 37株/坪では70株/坪より購入苗の種苗費と資材費（肥料費と農薬費）の合計が7,500円/10a程度少なくてすみ、精玄米の減収分をまかなえるという結果になりました（表2）。

図1 茎数と穂数(8/15)の推移

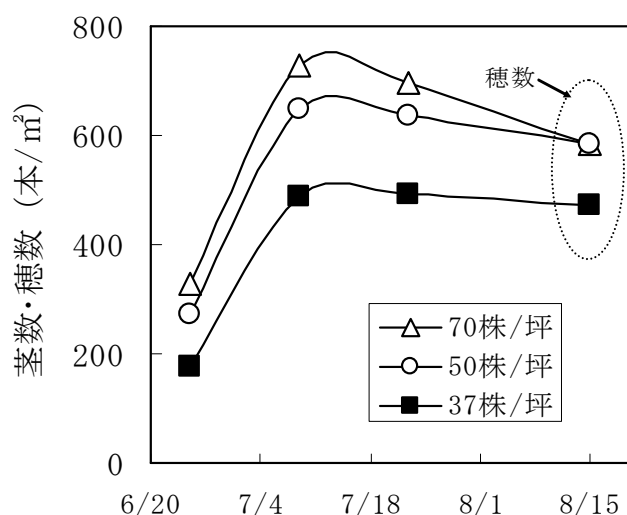


図2 葉色の推移

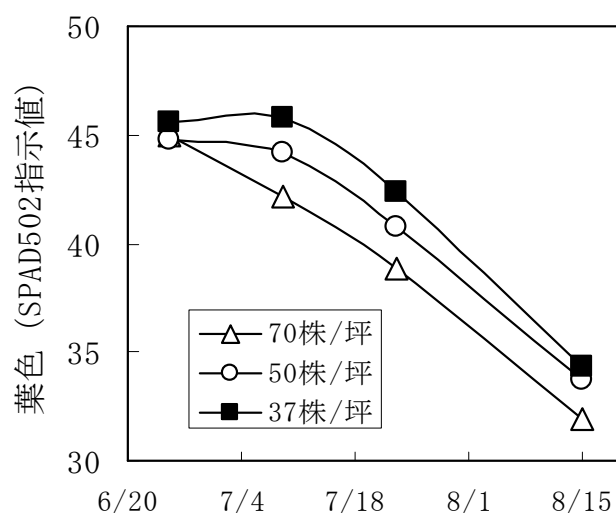
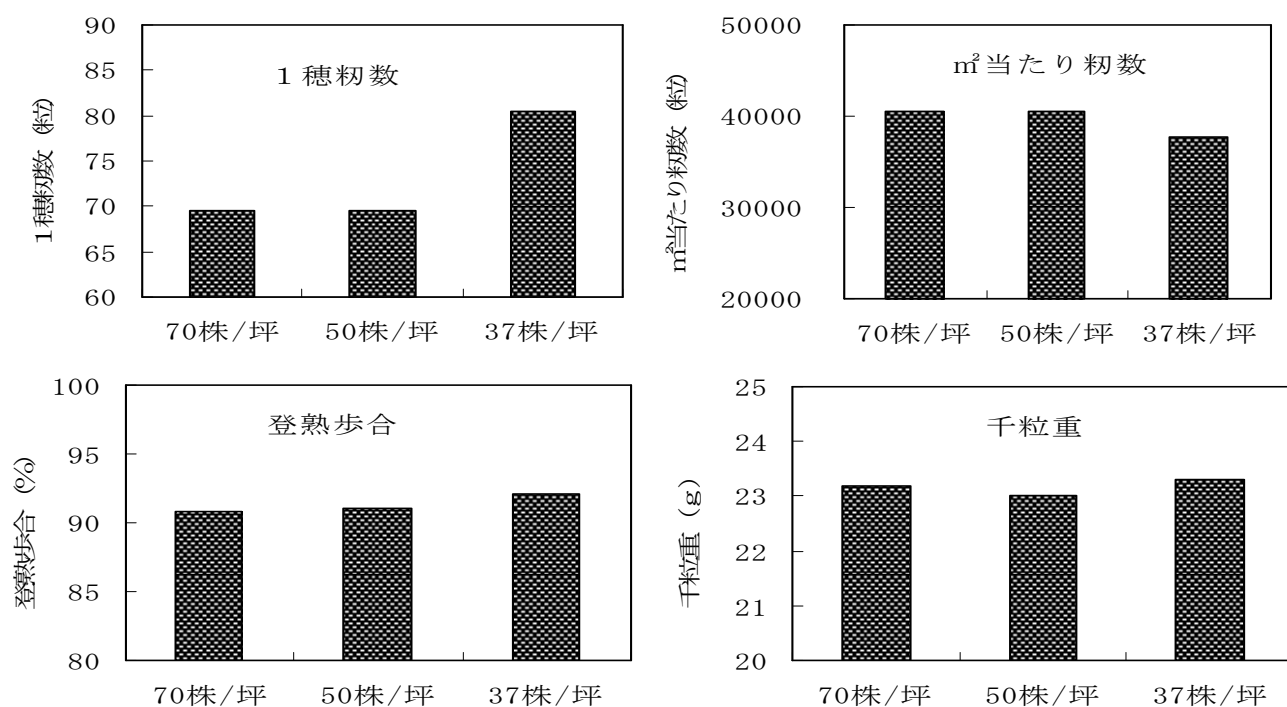


図3 収量構成要素



- ・ 1 穗粒数：穂 1 本についての粒数の平均
- ・ m²当たり粒数：m²当たり穂数×1 穗粒数
- ・ 登熟歩合：精玄米に稔った粒の割合
- ・ 千粒重：精玄米千粒の重さ（玄米の大きさを表す）

表1 精玄米重と玄米の品質

栽植株数	精玄米重 (kg/10a)	玄米の品質・食味			
		検査等級	食味値 (point)	タンパク質 (%)	
70株/坪	846	1等の中	86.0	5.7	※ 1等の中は、1等米を三段階に分け、中間のランクであることを示す。 ※ 食味値、タンパク質はサタケ RCTA-11A による分析値
50株/坪	827	1等の中	87.0	5.5	
37株/坪	814	1等の中	86.7	5.5	

表2 種苗費と資材費

栽植株数 (購入苗)	種苗費	基肥	追肥		種苗費と 資材費の合計
			箱処理剤(会津エコ米15)	塩化カリ 硫安	
70株/坪	12,208	2,594	2,226	567 390	17,985
50株/坪	8,525	1,811	2,226	567 390	13,519
37株/坪	5,865	1,246	2,226	567 390	10,294

※ 苗代を1箱682円として計算した。

※ 休耕田を復田したため、窒素は基肥 3kg/10a、追肥 2kg/10a とした。

### 【水稻の疎植栽培について】

一般的な見解では、「ひとめぼれ」は1穂につく粒の数が増えにくく、極端な疎植栽培には不向きとされています。

本年は気象条件に恵まれ疎植栽培で比較的良好な結果が得られましたが、高冷地の「ひとめぼれ」でどの程度の疎植が可能かについては、今後数年間試験を継続してから判断する必要があります。

## 出荷・販売等確認表(農業者戸別所得補償交付金)

農業者の皆さま、水田活用の所得補償交付金に係る出荷・販売確認表及び添付資料の提出ありがとうございました。今後、時期は未定ですが「数量払」の確認が予定されていますので、出荷数量の確認が出来る書類の準備をお願いします。

猪苗代町農業活性化協議会事務局(町農林課): 62-2116

## 米の全量・全袋検査

農業者の皆さま、米の全量全袋検査にご協力いただきありがとうございました。皆さまのご協力で、ほぼ検査を終了することができました。

なお、検査協力金等の支払い及び「今摺り米」等、今後検査が必要となる米の取り扱い等については、後日、集落推進員の皆さまへお知らせします。

猪苗代町農業活性化協議会事務局(町農林課): 62-2116

## 死亡した野鳥を見つけたら

○死亡した野鳥は素手でさわらないでください。

○同じ場所でたくさんの鳥が死亡していたら、会津地方振興局県民生活課または、町農林課までご連絡ください

連絡先: 会津地方振興局県民環境部県民生活課 TEL0242-29-5295

猪苗代町農林課農林業務 TEL0242-62-2116

## 食品等の放射性物質スクリーニング検査

「アグリいな」では、引き続き自家消費用食品等の放射性物質スクリーニング検査を行っています。詳しくは、スクリーニング検査受付までお問い合わせ下さい。

アグリいな 食品等のスクリーニング検査受付: 85-7137

# アグリいな

(猪苗代町地域農業活性化センター)

猪苗代町坂下4527番地

TEL 0242-85-7816

(旧福島県農業試験場冷害試験地)

FAX 0242-85-7836

開所日 平日 8:30~17:00

Mail [agriina@oregano.ocn.ne.jp](mailto:agriina@oregano.ocn.ne.jp)